

弓道ながの

第86号

発行：長野県弓道連盟
会長 松島貞治
〒399-1801
下伊那郡泰阜村4139
TEL0260(26)2628
編集：県弓連
印刷：成進社

巻頭言

私と弓道

長野県弓道連盟副会長 山浦博



長野国体が開

催された昭和五

十三年の十月、

当時佐久市弓道

場は現在の駒場

公園ではなく国

体柔道競技が開

かれた旧総合体育館近くの東側にあり
ました。季節外れの肌寒い日の午前、

私は初めての弓道場稽古に胸躍らせ道
場へ向かう途中、大きな荷物を両脇に

かかえた学生と二、三言葉をかわしま
した。後日その学生が柔道家の山下選

手だったと知り本当に驚きました。あ
れから四十五年の歳月が流れ、居合道

と共に何気無く稽古を続けてきた弓道
でしたが、今では体調不良か余程の悪

天候でない限りはほぼ毎日午前中は弓

道場に居ます。

大学時代友人に誘われ自由ヶ丘の糸

東流空手道場に入門した折、以前から

の夢であった種別流派を問わない武道

で合わせて十段取得を目標と定めまし

た。令和三年十月八日、県弓道連盟の

推薦をいただき日弓連より弓道七段を

認許され遠い昔に夢みた目標を達成す

る事ができました。

私の弓道直接の師は本多流の柳原光

春先生です。先生との出会いはまった

くの偶然でした。ある日、佐久の弓道

場で一人稽古をしていると玄関の戸が

突然開きそこに見知らぬ人が立ってい

ました。当然私は面識もなく最近時々

ある見物の人かと思いい稽古は中断しま

せんでした。するとその人が依田礼

先生のお宅を教えながら帰り支度をし
ていると、突然その人が道場に入って
きて先程の私の射の悪い所、悪い所を
初心者にも良く理解できるように丁寧に
身振り手振りを交え説明してくれま
した。その会話の中、佐久地域は以前
から本多流が盛んで殊に佐久、臼田は
亀岡先生、日暮先生をはじめ多くの先
生方を輩出していると話してくれまし
た。そのような関わりもあり私自身弓
道を習い始めた翌年から本多流射会に
参加させていただきました。射会の都
度柳原先生から石岡久夫先生、川村自
行先生など多くの先生方を紹介してい
ただき、又、柳原先生の本多流での地
位、立場を知り本当に感動した事を今
も鮮明に覚えてい
ます。その後種々
な事情もあり本多
流とは疎遠となっ
ていました。平成
十五年十月、生弓
会創立八十周年記
念として出版され
た本多流弓術書が
生弓会から送られ
てきました。私の
弓道に対する姿勢
や射技はその弓術
書が基本であり、

殊に迷いが生じた際は何度となくその
本を読み返し自らの射を修正し今日に
至っています。

私事ですが毎週水曜日は岩村田高
校、毎週土曜日の午後は東信地区の高
校で最近になって軽井沢のインターナ
ショナルスクールの外国人、帰国子女
が加わり審査部長の篠澤君と共に、時
には佐久弓道会の若者達の手を借りて
本当に大変な指導と向き合っていま
す。前回の長野国体の年に始めた弓道、
令和十年の第八十二回長野国体へ私達
の教えた若人が県代表として出場し活
躍する事を夢見ながら、喜寿を迎えた
老体に鞭打って体力の続くかぎり弓道
場通いを続けたいと願っています。



昭和 54 年 4 月



第74回全日本弓道大会
第72回住吉大社全国弓道大会

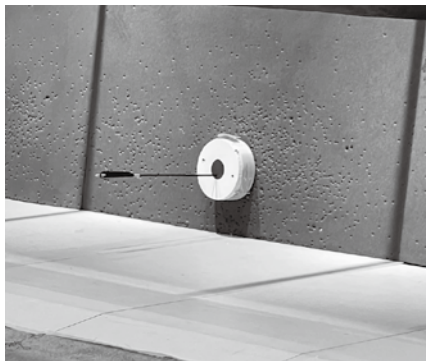
2つの全国大会を振り返って

飯伊支部 錬士五段 岩村 拓生



この度、第七十四回全日本弓道大会(京都大会)有段者の部、第七十二回住吉大社遠の大会において、近的遠的共に優勝しました。京都大会は今回で四回目の出場で初優勝、住吉大社大会は今回初出場で優勝となりました。

この京都大会は四段を取得してから毎年の楽しみであり、弓友と共に観光も楽しみながら参加しています。住吉大社大会は以前から大会の存在は先輩方からの思い出話などで楽しそうで、気になる大会ではありませんが、なかなか都合等付かず参加できていませんでした。今年は先生からお誘いいただいたので喜んで参加を決意しました。



京都大会は昨年予選落ちしてしまっただので、その苦い記憶を引きずりながらのスタートでした。予選一手は、直前の練習で調子が崩れ途中で落ちたタイミングでしたので、この二本中どちらか東中し決勝へと進む事ができました。決勝では、「いつも通り淡々と心を乱さず弓を引こう」と目標を持ち臨みました。射詰め五本目で五人まで減り入賞が確定してから、「このハイレベルな選手達との競射はどこまで続くのか」とワクワク楽しみながら挑めた事が優勝に繋がったように思います。住吉大社遠の大会は、開会式後、小

笠原宗家による幕目奉射が披露され、貴重な儀式を拝見し感動の中大会がスタートしました。この大会は、予選を通過したあとの決勝は50cmの的で射詰め競射になります。遠的で79cmのより小さいの対して弓を引くのはほぼ初めての経験で、これを楽しみに参加したのもあり、予選はいつも以上に緊張したように感じましたが、皆中し決勝へと駒を進める事ができました。決勝では念願の50cmの的を初めて直接見て、思った以上ののが小さく見え、自分自身中てられるのが不安になりました。でも普段の練習の狙いと感覚を信じて弓を引きまし



表彰式後 ご夫婦で

た。結果三本中で、優勝することができ、その成果にかなり驚きました。最後に、全日本弓道大会や住吉大社遠の大会で優勝という結果を残せたのも、地元である飯田下伊那弓友会の皆様をはじめ、県連強化部の先生方や各地の弓友の皆様、いつも支えてくれる家族のお陰と感謝しております。これからも自分らしく日々精進して参りますので、これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

(写真提供 全日本弓道連盟)



北信越地区指導者講習会

指導者講習会に参加して

諏訪支部 教士六段 志村 仁

五月十三日、十四日に石川県立武道館弓道場にて令和五年度北信越地区指導者講習会が開催されました。新型コロナウイルスの流行が始まって以来、一昨年、昨年と感染予防で縮小開催となっていました。北信越五県の各県から六名ずつ、合計三十名を対象に二日間の講習会となり、範士八段 小林先生、教士八段 細川先生に講習していただきました。私自身は今回が三回目の受講でしたが、二日間の講習会は初めて。不安ばかりが募る中での受講となりました。

講習会の流れは次の通り。

- ① 小林先生による矢渡(細川先生が介添の注意点を指摘、解説)
- ② 一手行射(講師による講評)
- ③ 講話「公益法人としての役割」、「地方委員としての心構え」、「コンプライアンスなどについて」
- ④ 基本体の確認(基本の姿勢、基本の動作)
- ⑤ 射技指導と持的射礼
- ⑥ 懇親会
- ⑦ 小林先生、細川先生による一つの射礼演武
- ⑧ 射礼研修(二つの射礼)

⑨ 講話(質問など受付)
 ⑩ 射技指導と仕上げの一手行射
 この内容で行われました。日弓連からの新しい伝達事項はなく、「基本に忠実に」との事でした。

今回の講習会の中で最も心に響いたのが、講話の中で小林先生が話された京都全日本大会での柴田範士の演武の話でした。近年、柴田範士は震えが来る状態になっていたようです。しかし、今回の範士演武での一手は、震えもなく気合い十分で迫力のある射をされたそうです。その射を見た小林先生は、九十歳近くになってもこんな素晴らしい射ができる。膝を悪くして思うように引けなくなり、自分もここまでかと思っていたが、自分の限界を決めてはいけない、まだまだ頑張れると感じられたそうです。そして受講者にも、自分の限界を決めず修練に励んで欲しいと指導されました。その講話の次の日の一つの射礼演武では、気合いの入った射で、本座への後退までしっかり気合いが込められていて素晴らしい演武をされていました。

最近、限界を感じていた自分にとって心に響く言葉、指導となりました。今回の講習会で勉強した事を体現し、そして指導できるようにこれからの修練に励みたいと思います。

弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
 12人立2ヶ所
 遠的道場 1ヶ所

帝産ロッチ

〒384-1305
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
 HP: <http://www.teisanlodge.com/>
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

北信越地区指導者育成講習会

北信越地区指導者育成講習会に参加して

諏訪支部 錬士六段 清水伸浩

令和五年五月十三・十四日に県営富山弓道場にて北信越地区指導者育成講習会に参加させていただきました。講習会冒頭での富山県弓道連盟の岡本会長からの挨拶にもありました通り、昨年まではコロナの影響で縮小開催でしたが、今年は通常開催に戻り、北信越地区各五県から六名ずつ参加し、計三十名での講習会に参加することができました。主任講師に長野県から範士八段 杉田博先生、講師として新潟県から教士八段 高野直行先生より御指導をいただきました。

一日目、開講式後の矢渡では杉田講師が射手をされ、受講生が介添をつとめました。杉田講師の射を記憶にとど



めようと、しっかりと見取り稽古をさせていただきました。

講習で高野講師からは、先に受講生より気が付いた点を指摘させたのちに、第一介添が両手指建の姿で控え、射手が本座から射位へ出る動きの合わせ方や、介添の定め座の位置など細かい所までご指摘いただきました。一手指射の後、「自分の事だけで、人に気配りが無い人が多い。一人で練習しているからそうなる、普段の練習でも立を組んで行う事」「肌脱ぎや、襷をかけた後、執弓の姿勢で手の位置が低くなる人が多い」など、普段の練習で注意する事を多く指摘していただき、自分の技量不足に気づかされました。

講話では、コンプライアンスや公益法人についての話がありました。その講話の中で杉田講師から「指導者は成長する芽を摘むような事はしていけない。ただ甘やかすという事ではなく、厳しさの中にも優しさのあるような指導を」とお話があり、自分の指導者としての力量を考えさせられる内容でした。その後、射技指導をしてい

ただき一日目の講習が終わりました。

二日目は、講師演武の一つ的射礼から始まりました。杉田講師と高野講師による演武は、瞬きする事さえも惜しい素晴らしい演武でした。弓の冴え・弦音・的の中、受講生全員が同じ感動を手に入れた時間だったと思います。私も人を感動させる射をしてみたいと強く思いました。

射礼研修基本動作として、一つの射礼と、持ち的射礼を全員で行いました。いかにやっているつもりでも、できていないという事を痛感させられる時間になりました。入場からの坐礼、足の閉じ方などの基本動作、三人でのタイミングの取り方等、日頃から手を抜いてしまいそうところを確実にできるようにしながらはいてほしいと思います。



最後の仕上げ行射では、ご指摘いただいた事を確認しながら行射をし、終了となりました。今回の講習の中で、杉田講師が「講師はヒントを与えているだけ。工夫して引き、何度も失敗した中で自分の修正点を一つでも自分で探してみつける。そうでないと自分のものにならない

い」とお話がありました。反省ばかりの講習会でしたが、先生方からいただいたヒントを基に稽古をしていきたいと思えます。

閉講式の最後に杉田講師より「できる事と知っている事は違う。できるようになって下さい」と、お言葉がありました。二日間の講習が終わりました。

今回の講習会でお世話をしていただいた、富山県弓連の方々にお礼を言い、他県の受講生と挨拶をして道場を出ました。道場を出て直ぐ、富山大橋から立山連峰が見えました。残雪が残る立山は、講習前よりも綺麗で大きく感じられ、今回の講習会で知り合った北信越地区の弓友達が日々の生活の中で、この同じ山を見ていることを嬉しく感じながら、富山を後にしました。

最後に、三年の間コロナ禍では苦勞されながらも、御尽力していただいた関係者の方々には大変感謝いたしております。そして、この貴重な講習会に参加させていただいた事に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和五年度 信越講習会「称号者の部」を受講して

松本支部 錬士五段 松嶋 孝子

令和五年度信越講習会が、去る五月二十日・二十一日の二日間にわたり、新潟県立武道館弓道場において行われました。

当初予定の主任講師の新潟の高野先生(教士八段)はご事情でお休みとなり、新津先生(教士七段)が急遽主任講師として、山本先生(教士七段)とお二人でのご指導をいただく事となりました。

開講式後、久しぶりの礼記射技・射法訓の唱和。続いて、射手を新津先生、介添を受講生で矢渡。介添の講評担当も受講生が指名されました。一つも漏らすこと無いよう受講生全体が三名の動きを注視して拝見いたしました。講評では三者合いで呼吸が合い良かったが、介添の手の位置や動き等、基本体・基本動作に則りもう少し勉強することで見ている者にも心が伝わっていくとお言葉がありました。その後、基本体と基本動作の確認で、「立ち方」「礼・揖の時の手の位置」、「跪坐や正坐からの立ち方」「開き足」、「歩き方」を道場内で繰り返し行いました。

昼食後は、一手行射を一次審査の間合いで行い講評を頂きました。その中で、襷さばきでは無駄な動きや無駄な視線は必要無い、凜とした襷さばきをするように。男性の肌脱ぎでは、目的を考えながら動作をするようにという指摘がありました。基本の動作をキチンと押さえるという事を審査の為ではなく、自分の弓道の為にやるように、そしてできるできないでは無く努力する姿勢が大切、というお話がありました。初日最後は射技研修で、時間をかけて丁寧にご指導をいただきました。受講生の方々も講師の先生方の射技指導を近くで拝見させていただき、多くを吸収しようという熱気を感じる時間を過ごしました。二日目は、講師の先生の二人一つの演武、その後受講生による射礼研修(二つの的)を指導いただきました。休憩後は、受講生からの質問コーナーがあり、射礼での失の処理と他の射手の動きについて、全員で確認しました。問答集に記載があるので読む、実際は臨機応変に対応する事。稽古

時でも失の処理はきちんとやる事。というお話でした。仕上げ行射は急遽持的射礼に変更。先輩方の体力の限界を感じさせない射礼を見取り稽古させていただき、弓に向かう姿勢の差を感じました。今回の講習会では、お話の中には必ず「指導者として」という言葉が入っており、錬士という称号を頂いた責任というものを感じました。正しい事を自信を持って、自分の言葉で伝えられるように精進せねばと心に誓い、謙信公武道館を後にしました。最後に、二日間熱心なご指導をしていただいた講師の先生方に心より感謝申し上げます。



信越講習会「五段の部」を受講して

長野支部 五段 宮澤久美子



令和五年五月二十一日に飯山市弓道場にて、講師 松島貞二先生、安達行法先生、奥山誠治先生のご指導の下、信越講習会(五段の部)が開催されました。前日は五月と思えない暑さであり、講習会当日はもっと気温が上がる予想されていましたが、新緑の中、時折吹く風が心地よく、とても清々しい気分を受講できました。新型コロナウイルスが五類に移行され、初めての講習会であり、礼記射技・射法訓も全員で唱和することができ、気持ちも引き締まりました。

初めに主任講師の松島先生の挨拶で、「錬士の壁を打ち破る」という目標のもと、この講習会は開催されているとのお話。そのため射技指導に重点をおき、講評は控えめにするとのことでした。午前は受講生全員の一手行射(審査の間合い)で終わりました。午後は最初に一手行射の全体的な講評として、安達先生から先生方の気になったところをまとめて六つの指摘を受けました。

①弓落ちが多い。手を開いて離すから弓が落ちる。これは手の内の作り方で直せるとのこと。
 ②執り弓の姿勢について。入場時は良いが、弓倒しの後から崩れる。
 ③足踏みが全体に狭い傾向である。

自分の矢束に応じた広さにすること。
 ④物見(弦調べ・籠調べ)。息合いで、目だけでなく顔も若干動く。
 ⑤退場について。かぶせ足で回らない。神棚に意を注ぐが、体だけでなく足まできちんと向くこと。
 ⑥入場の歩数を確認すること。何歩で入れば全員で揃えられるか考える。と一つ一つ細かく説明していただきました。基本的なことが多く、できていないことに反省。その後は射技指導。三人の先生方に熱のこもった指導をいただきました。その中で、「やるべきことはちゃんとやること」「妥協をしない」、「もっと自分の射に自信を持つて」でない、次に進めない。という非常に厳しいお言葉をいただきました。射技よりも私の内面的な部分への指摘。日頃の稽古の中でも同じようなことを言われている

自分に凶星の指摘。一手見ただけでそのような印象を与えてしまうことはとても悔しく、心を強く持つこと、自信を持つことの大切さ、自分の甘さを改めて痛感しました。最後は仕上げとして、二次審査、持的射礼を行う予定でしたが時間の関係上、番号の後ろから四立ち、番号二十八番以降の受講生のみ行うとの指示。私、二十八番……。やばい。この少し前、持的はやらないのではないかとといううわさが流れていたため、この指示は大変驚きましたが、大変ありがたいうことでした。しかし、不慣れな飯山の広い道場。位取りをしないといけないが……。とても焦ってしまい、あつという間にその時間は終わってしまいました。緊張の中での持的射礼。ちゃんとできたのか?! 仕上げになったかはわかりませんが、とても良い経験をさせていただきました。本番の審査では焦らず、落ち着いて、しっかりと自分の射に集中し臨めるようにしないといけないとつくづく感じました。

コロナ前と同様の講習会ができたこと、とてもうれしく思います。ありがとうございました。「錬士の壁を打ち破る」この目標が一人でも多く達成できるように、自分自身日々精進してまいります。

令和5年度 長野県勤労者弓道選手権大会

期日：令和5年4月16(日) 於：塩尻市弓道場



大会結果

個人の部

- 1位 酒井 紳一(南信教職員)
- 2位 生田 憲克(北信教員)
- 3位 小島 樹(長野県庁)

技能優秀者

増澤 徹二(セイコーエプソンA)

団体の部

- 1位 セイコーエプソンA(小林恒太、増澤徹二、濱島伸太郎)
- 2位 長野県庁(中島冬萌、小島樹、横澤志織)
- 3位 北信教員(生田憲克、飯塚邦洋、窪田和恵)

長野県代表チーム

セイコーエプソン A チーム・長野県庁チーム

私と弓道

須高支部 参段 田籠 絵美子

「初心者弓道教室だつて」「へえ：やってみたい!!」「弓道か、いいなあ」早速家族三人分の申込みをしたのが四年前、私達家族と弓道の出会いでした。

教室では受講者も多く、一日に四本引くことができいい方でした。前期、後期と受講させていただきましたが、それだけで満足できるはずもなく、もっと引きたい、もって上手になりたいと主人と共に弓道会へ入会させていただきました。中学生だった娘は受験を理由に一旦離れてしまいましたが、高校生になると弓道部へ入部しました。

やっと一人での前へ立つことができようになるってしばらくすると、新型コロナウイルスの影響で道場が使用できなくなりました。その後、初めての審査は一年見送ることとなり、少しずつ規制も緩和されると、道場が使えること、御指導いただけることに感謝し、基礎をしっかりと教えていただきました。

今日はここを教わった、ここがまだできない、これはどうしたらいいと思う?など家族で弓道の話をするこ

とがよくあります。弓道を通して更に共通の話題が増えたことを嬉しく思います。未熟者の私が言うのもおこがましいのですが、弓道は知れば知る程奥が深く、できるようになれば更に難しくなり、常に学び、探求する必要があるものだと痛感しています。

少しずつ大会も開催されるようになり、今年には様々な場所での大会を経験させていただいています。ひとつの目標として、家族三人での大会出場、入賞することができればと思っています。今年度高校を卒業する娘が弓道を続けていくのかは分かりませんが…

最後に「私と弓道」という題材でしたが、「私達家族と弓道」になってしまいました。私にとっては家族あつての弓道ですので、今後も家族の理解、協力を得ながら日々精進してまいります。





第74回 全日本男子弓道選手権大会
第56回 全日本女子弓道選手権大会
長野県予選会



期日：令和5年6月4日(土) 於：松本市弓道場

大会結果

**北信越錬成大会県代表選手
男子の部**

- 1位 清水 北登(須 高)
- 2位 保木野克海(長野)
- 3位 岩村 拓生(飯 伊)
- 4位 志村 仁(諏 訪)
- 5位 平澤 敏弘(飯 伊)

**北信越錬成大会県代表選手
女子の部**

- 1位 久保田智恵(長野)
- 2位 中村 美穂(諏 訪)
- 3位 牧野ふみ江(南佐久)
- 4位 牛越 和枝(安 曇)
- 5位 中田 美千(松 本)



撮影：吉田 智之

弓仲間紹介

池田町弓道会 船田 徹

先ずは、仲間の一人、池田町弓道場を紹介いたします。

立射五歩一歩、坐射三步一歩、通常六人立ち、その他、的毎のスポート照明、冬季には風防、夏季にはシーリングファンが備わっており、近隣には大病院、スーパー、コンビニと大変快適な環境です。

さて、標題にあります弓仲間の構成といたしましては、学生を除けば、定年退職後の私が若造の部類に入ります。つまり、亀の甲より年の功、人生経験が豊富で色々な特技を持った方々の集団でして、道場の設備や備品整備などは、殆ど自前でやっております。

日々の練習は、大まかに昼の人々、夜の人々と呼ばれているグループに分かれておりますが、月二回の射会(昼の射会)「ひまわり射会(夜の射会)」では、それぞれの人々が一堂に会し、日頃の練習の成果を競います。加えて、会長が会員のためにいろいろな趣向を凝らした射会を歳時に合わせて行い、時には会員のお寺さんから提供される御供物が副賞になる

など、ご利益も授かっております。

このように、自身も楽しみつつ、弓道教室や弓道大会を開催して、弓道の普及・啓蒙にも努めております。

末筆ではございますが、先輩諸氏の健康長寿と、今後を担う若人求む！



(写真は夜の人々)

大会結果

穂高神社奉射祭奉納県下弓道大会

○令和5年3月17日(金) 穂高神社南神苑弓道場
参加人数：高校69名、一般66名、計135名

■団体の部(24射)

▲高校

- 1位 松商A 小池美織、百瀬美紅、野村愛夏
- 2位 松商C(富成祥万、市瀬竜太郎、百瀬椋太)
- 3位 松商B(瀧澤遙、小林愛、柴田結)

▲一般

- 1位 松本長野混成(關正幸、三村仙市、生田憲克)
- 2位 上越(歌代重則、阿部守、大原薫)
- 3位 大北福寿草(渡辺敏夫、傳刀恵美、西澤徹)

令和5年 特別国民体育大会弓道競技長野県二次選考会

○令和5年4月8日(土)、9日(日) 須坂市弓道場、松本市弓道場
参加人数：成年男子18名、成年女子10名、少年男子35名、少年女子40名

▲少年男子 11名

- 廣川 颯介(長野日大)
- 宮澤 歩夢(長野日大)
- 小平 巴琉(小諸商業)
- 黒田 隼矢(松本美須ヶ丘)
- 青木 翔大(伊那弥生ヶ丘)
- 登内 琉真(高遠)

▲少年女子 11名

- 丸山 りの(長野商業)
- 牛山 愛菜(長野日大)
- 中條 美織(小諸商業)
- 尾沼 優菜(小諸商業)
- 野村 愛夏(松商学園)
- 黒木 花鈴(松本美須ヶ丘)

▲成年男子 8名

- 小田切祐典(須高)
- 藤森千友貴(上小)
- 岩原 祐真(諏訪)
- 蟹澤 史弥(上伊那)

- 小島 樹(上小)
- 保科 良介(上小)
- 蟹澤 契太(上伊那)
- 岩村 拓生(飯伊)

第29回 県下弓道駒ヶ根大会

○令和5年4月16日(日) 駒ヶ根市弓道場
参加人数：高校56名、一般25人、合計81名

■個人の部(8射)

▲高校

- 1位 北原 咲希(伊那弥生C)
- 2位 廣瀬 真和(下伊那農A)
- 3位 小松 楓(赤穂C)
- 4位 登内 琉真(高遠B)
- 5位 矢島 彩花(諏訪二葉B)

▲一般

- 1位 下島 朋(伊那A)
- 2位 矢部 誠一(高遠C)
- 3位 宮澤 公利(駒ヶ根C)
- 4位 杉山 滋志(駒ヶ根F)
- 5位 田中ひとみ(伊那A)

第63回 弓道須坂大会(一般の部)

○令和5年4月23日(日) 須坂市弓道場
参加人数：36名

■近的个人の部(8射)

- 1位 新津 一夫(フリージア)
- 2位 永藤 聡(チーム丸山)
- 3位 清水 北登(須坂A)
- 4位 伊澤 貴幸(尚弓会)
- 5位 笠井 信夫(たんぼぼ)
- 6位 石田 真(飯山)
- 7位 西澤 徹(たんぼぼ)
- 8位 赤芝 眞平(長野運動公園)
- 9位 小山謙太郎(須坂B)
- 10位 押見 恭子(長野運動公園)

■遠的个人の部(8射)

- 1位 小山謙太郎(須高)
- 2位 永藤 聡(須高)
- 3位 清水 北登(須高)
- 4位 笠井 孝芳(長野)
- 5位 押見 恭子(長野)

▲成年女子 8名

- 米持 奈々(須高)
- 藤澤 敏恵(長野)
- 中田 美千(松本)
- 蟹澤 絢音(上伊那)

- 中島 冬萌(長野)
- 小原 弓佳(上小)
- 吉江 美佳(松本)
- 岩村 綾(飯伊)

第67回 北信弓道大会

○令和5年4月29日(土) 飯山市弓道場
参加人数：高校男子51名、高校女子19名、中学男子10名、中学女子27名、一般男子37名、一般女子35名、合計146名

■団体の部(5人1チーム、計30射)

▲高校男子

- 1位 長野日大C(関口大輝、廣川颯介、阿部晃大、水野祐樹、宮澤歩夢)
- 2位 長野吉田B(原田航希、降旗一衡、望月響、石井伯音、中野大輝)
- 3位 篠ノ井(松尾有真、宮下結子、峯村拓登、菅原悠翔、宮本隼佑)

▲高校女子

- 1位 長野日大D(北村ひなた、宮本史織、吉原夢純、北條花音、峯村百合亜)
- 2位 須坂C(中村有結、川口優花、三井華、野本純華、塩野愛桜)
- 3位 長野日大C(山本美沙季、西澤来春、牛山愛菜、山崎桃子、松木陽奈)

■個人の部(6射)

▲高校男子

- 1位 暖和(長野工業)
- 2位 降旗 一衡(長野吉田B)
- 3位 中澤 洋介(長野吉田A)
- 3位 中野 大暉(長野吉田B)

▲高校女子

- 1位 峯村百合亜(長野日大D)
- 2位 吉原 夢純(長野日大D)
- 2位 橋本 夢花(長野東B)
- 3位 橋本 夢花(長野東B)
- ▲中学生男子
- 1位 宮津 終(長野日大)
- 2位 北向 真士(文化学園長野)
- 3位 羽生田真広(長野日大)
- ▲中学生女子
- 1位 凜子(長野日大)
- 2位 内田 菜月(市立長野)
- 3位 齊藤 真緒(長野日大)

▲一般男子

- 1位 松井 幸彦(安曇)
- 2位 生田 憲克(長野)

■一般団体の部(12射、計36射)

- 1位 たんぼぼ(荒井孝芳、西澤徹、笠井信夫)
- 2位 長野運動公園(佐藤正之、押見恭子、赤芝眞平)
- 3位 尚弓会(松倉志、伊澤貴幸、飯田秀樹)

■金の

笠井 信夫
相原由美子

令和5年度 第70回 市民弓道大会

○令和5年4月29日(土) 飯田運動公園弓道場
参加人数：高校98名、一般45名、計143名

■個人の部

▲高校男子(8射)

- 1位 廣瀬 真和(下伊那農業C)
- 2位 今牧 勇雅(OIDE長姫D)
- 3位 福澤 崇偉(阿智B)
- 4位 秋山 太志(阿智A)
- 5位 原 大智(下伊那農業B)
- 6位 熊崎 仁(阿智A)
- 7位 漆原 新太(OIDE長姫B)
- 8位 大真(OIDE長姫B)
- 9位 片山 優斗(阿智A)
- 10位 羽生 蒼波(松川)

▲高校女子(8射)

- 1位 宇佐美瑠菜(飯田女子A)
- 2位 元 咲葵(飯田女子C)
- 3位 荒尾妃奈子(飯田女子D)
- 4位 加藤美羽音(松川B)
- 5位 菜花 歩叶(飯田A)
- 6位 富永 凜子(飯田女子B)
- 7位 福沢 紀咲(OIDE長姫A)
- 8位 林 郁未(阿智B)
- 9位 牧島 里桜(下伊那農業A)
- 10位 大島 琴美(松川A)

▲一般(12射)

- 1位 岩村 拓生(初志真徹)
- 2位 平澤 敏弘(豊丘道場)
- 3位 平澤 玲子(豊丘道場)
- 4位 宮崎 晃瑠(初志真徹)
- 5位 龜谷 静江(上飯田)
- 6位 北原久美子(りんどう)
- 7位 木村 匡房(座光寺)
- 8位 今村 英樹(りんどう)
- 9位 高島真由美(りんどう)
- 10位 大西 春慶(春あらし)

■団体の部(8射、計24射)

- ▲高校
- 1位 阿智A(男子)(秋山太志、熊崎仁、片町優斗)

- 2位 飯田女子A(各務美華、宇佐美瑠菜、高田明花)
3位 OIDE長姫B(男子)(手塚新太、漆原大真、森脇遠介)
▲一般(12射、計36射)
1位 初志貫徹(宮崎晃瑠、岩村綾、岩村拓生)
2位 豊丘道場(松枝敏広、平澤敏弘、平澤玲子)
3位 太陽久保田晃弘、今村英樹、熊谷すみか

- ▲高校
1位 百瀬 椋太(松商C)
2位 小林 珠緒(塩尻志学館A)
3位 小沼 実月(豊科A)
4位 百瀬 美紅(松商A)
5位 青木 翔太(弥生B)
▲一般
1位 富岡 直希(信州大学A)
2位 星野 拓翔(佐久1)
3位 中島 冬萌(松本K)
4位 村上颯一郎(信州大学D)
5位 関 正幸(松本D)

- ▲高校
1位 岩村田A(山口峻矢、久真也、小林陽向、佐々木就平、佐々木愛李)
2位 岩村田B(青木颯斗、土屋快渡、松本陽真、谷津琉那、小山潤太)
3位 佐久長聖A(関戸葉奈瑛、篠原聖奈、戸掘華緒、山浦珠由、中村小紅)
▲一般
1位 佐久7(篠澤知英、増田亮、山浦博)
2位 小諸すみれ(掛川玲、掛川亜弓、土屋きよみ)
3位 佐久6(渡會利子、鶴岡昭平、金原正)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- 初参段の部
1位 長谷部優佑(信州大学)
3位 原 航平(信州大学)
4位 西村 太志(信州大学)

- ▲高校男子
1位 岩村田A(山口峻矢、久真也、小林陽向、佐々木就平、佐々木愛李)
2位 岩村田B(青木颯斗、土屋快渡、松本陽真、谷津琉那、小山潤太)
3位 佐久長聖A(関戸葉奈瑛、篠原聖奈、戸掘華緒、山浦珠由、中村小紅)
▲一般
1位 佐久7(篠澤知英、増田亮、山浦博)
2位 小諸すみれ(掛川玲、掛川亜弓、土屋きよみ)
3位 佐久6(渡會利子、鶴岡昭平、金原正)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 岩村田A(山口峻矢、久真也、小林陽向、佐々木就平、佐々木愛李)
2位 岩村田B(青木颯斗、土屋快渡、松本陽真、谷津琉那、小山潤太)
3位 佐久長聖A(関戸葉奈瑛、篠原聖奈、戸掘華緒、山浦珠由、中村小紅)
▲一般
1位 佐久7(篠澤知英、増田亮、山浦博)
2位 小諸すみれ(掛川玲、掛川亜弓、土屋きよみ)
3位 佐久6(渡會利子、鶴岡昭平、金原正)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

- ▲高校女子
1位 高際 和美(混合)
2位 岩村 拓生(松本F)
3位 吉佳 美紅(松商A)
4位 廣瀬 未琴(信州大学混合A)

- ▲高校男子
1位 小林 隼大(松本嶽ヶ崎男子D)
2位 百瀬 椋太(松商P)
3位 高成 祥万(松商P)

コロナ禍で何もかも自粛という生活から、四年ぶりに世の中が再始動して不安半分期待半分といったところでしょうか。私のお出掛けの相棒の車が超ボンコツになり、やっと新しくなつて一年がすぎましたが、必需品のナビの表示が古すぎた道なき道を行っていたような状態だったので、新しい地図が自動で更新され、これならどこへでも行かれる!!という感じです。それだけでも機械の進歩はめざましいと思うところですが、将来に備えて色々な機能を付けたらピーピーうるさく、しまいは「前です」「左うしろです」とか指示までされて「わかっている!」と車に文句をつける有様です。便利なものもちよとおせっかいに感じてしまいますが、数年後にはありがたいと感じる歳になっているのかもしれない。

最近話題のチャットGPTをはじめとする、様々なAI技術を利用した日常が訪れている現代です。から、ボタン一つで行きたいところから自動で連れて行ってくれる車もじきに出てくるかもしれません。それはそれであちこち寄り道したり、脇道に入つて新しいお店を発見したりする楽しみがなくなつてしまふような気がします。そう思うと弓道がこんなにも長い間綿々と続いているのは、いろいろ研究され道具も進化していても、最後は究極のアナログで、失敗や成功の繰り返しにやめられない面白さがあるのではないかと、ふと思いました。

中高支部 大塚 利恵子

昇段昇格者

- ▽「近畿地区」 錬士臨時中央審査会
▽錬士の部 岩村 拓生(五段 飯伊支部)